あいの助密書

～愛・逢・I～の助

お陰様で第23号
発行所
有限会社猪木酸素
玉島店
ライフサポートあいの助岡山営業所

夏の疲れが出ていませんか？

からださんを労わりましょう

地域の皆様の暮らしを「陰ながらそっと支える」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店ライフサポートあいの助です。まだまだ暑い日が続きますが、それでも朝晩に吹き渡る風には幾分涼しさを感じるようになりました。さすがにそろそろ夏の終わりの気配を感じます。そして押し寄せてくる倦怠感。酷暑を乗り越えた身体がメンテナンスのアラームを発動する訳です。皆様、からだを労わってあげてますか？今回はちょっと不思議な話をします。テーマは「宇宙とからだはつながっている」です。

こころとからだの結びつきを多くの人へ伝えたいという思いで「からだ占い(R)」を考案した薬剤師で、一般社団法人からだ学研究所を主催されている滝村桂子先生曰く、

「たとえば、地球上の海と大陸の割合と、私たちのからだの中の体液と臓器の割合はどちらも7対3です。また、海水のミネラル成分と羊水のミネラル成分はほぼ同じだといわれています。そして、私たちの1分間の呼吸数は約十八回といわれていますが、その回数は1分間に浜に寄せる波の回数と一致するといわれます。十八の倍の三十六は人間の平均的な体温、さらに倍の七十二は平均的な脈拍数、その倍の百四十四は正常な血圧の最高値とほぼ一緒なのです。

月のリズムもからだと結びついています。女性の生理周期や皮膚の新陳代謝の周期は約二十八日、月の満ち欠けの周期は約29．5日でほぼ同じです。このように、私たちは宇宙のリズムとつながって生きているといえます。」

そして、東洋哲学の「陰陽五行説」の、人も含めて自然界は「陰陽」の世界でできているという考え方を論拠に、「こころとからだと自然は一体である」と提唱されています。　そして「自分自身を知る」ことが大事であると説かれます。心臓に「動け」と命じずとも心臓は動いてくれているし、胃に「消化しろ」と命じずとも食べたご飯を消化してくれているのに、多くの人が「自分のからだのどこに何があって、どんな働きをしているのか」を知らないままに生きています。これを会社に例えると、「すごく優秀な社員が揃っていて、何も指示しなくても全員が文句も言わずに一生懸命働いている」という状態です。そして社長は、会社にどんな社員がいてどんなふうに会社に貢献しているかも知らず「あの人誰だっけ？　何の仕事してるんだっけ？」と思っているようなものなのです。私たちの社会ではそんなことってあり得ません。ですが多くの人のからだで、これが「日常」になっているのです。あなたが何も言わなくても、からだは黙って働いてくれます。ですが、あなたがからだを気にかけて声をかけてあげたら、からだはもっと上手に働けるようになるのです。

と訴えられています。

（日本講演新聞記事より抜粋）

私などは差し詰め、からださんを酷使するブラック企業のオーナーなのでしょう。見かねた知人が変わったプレゼントをしてくれました。それは、「ボディーヒーリング」。からだの意識を言語化できるという特殊能力をお持ちの方を通して自分の身体と会話をするのです。質問の一部を紹介します。からださんへの質問「本格的に農業をやりたいと思っています。但し、会社勤めとの兼務です。あとどれくらい無理が利きますか？」からださんからの答え「農業は腰でしょ？とにかく下半身の強化に励め。今の身体の動かし方では、そろそろ無理は利かない。本来の日本人の身体の使い方を知るタイミングだ。真菰と共に地に根を張れ。」だそうです。それ以来、毎朝たった5回だけですが四股を踏んでおります。因みに私が真菰栽培にチャレンジしていることは、ヒーラーさんには伝えておりません。信じるか信じないかはあなた次第です！

農園の近況～有機農法への道

マコモダケ現在の様子です。春先に百四十本買い込んだ苗でしたが、田甫に水が溜まらない問題勃発にてどんどん枯れていき、最終的に三十本程度が生き残り、なんとか大きくなっていた株もあったのですが、前号でも記載の通り、猪のお眼鏡にかなった株から食べられてしまいほぼ全滅状態です。時期も大きく遅れて田植えしましたので、実際にどこまで生長したかは疑問なのですが、残念でした。今年は完膚なきまでの大失敗でしたが、来年への布石と捉えて環境整備に注力します。とはいえ、大きくならなかった真菰も荒らされてしまうのは可愛そうなので一応電気柵を設置しました。なにもかもが遅い対応からの失敗でした。

逸品紹介

エアフィッツ　シリーズ

座面だけでなくバックサポートにもエアクッションを装備してあり、空気量も調整できる優れモノ。上質なソファのようなフカフカ快適な座り心地を再現します。